

いかにして、地域を巻き込んだ防災体制を構築するか

提言：中学校区の小・中学校の教職員、保護者、地域の方が協働した研修会を行うことが、有効な方策の一つです。

甲府市立南西中学校区（南西中、国母小、石田小）で行われた防災研修会について、4つの視点で紹介します！

Q 1 忙しい中で、どうやって研修の時間を生み出したらよいか？

A. 既存の組織、会議等を利用する

「無理なく持続可能な研修にする」という視点から、毎年この地区で実施している学力向上研修会の後に、防災研修会を位置付けています。会議の回数を増やすことなく短時間でも有意義な研修が行われています。

短い時間だったけど充実していた。こういう機会は、大切にしていきたい！



Q 2 保護者や地域の方とどのように関わればよいか？

A. 地域住民だからこそ分かることを話題にし、協議する

この研修会では、大地震、豪雨災害を想定したD I G（災害図上訓練）を実施しました。長年この地域に住んでいる方だからこそ分かる危険箇所等についての情報を共有しました。防災は、地域との連携を推進する最適なテーマの一つです。教員と地域住民等が顔見知りとなれる、とてもよい機会です。

ここは、道が狭く建物も古いので、地震の際には、とても危険なんですよ。



Q 3 防災に関する専門的な知識に不安があるけれど、どうしたらよいか？

A. 地域の専門家に協力を要請する

この研修会では、地域にあるN P O法人の専門家に指導助言を依頼しています。地域には、市町村の防災部局や防災関係機関等の専門家があります。研修等の目的に応じて協力を要請し、連携することが大切です。

今日の研修は、地域の方々と地域の防災について、共有できたことが一番のポイントですね。



Q 4 防災教育リーダー（教員）の役割には、どのようなことがあるか？

A. 学校間や地域をつなぎ、研修の成果を防災教育に生かす

この研修の実施に当たり、各校の防災教育リーダーが連携し、地域住民や専門家に協力を要請するなど、学校と地域をつなぐ役割を果たしています。また、研修の成果を防災教育に生かすため、授業の中で、子供たちがD I Gを実践しました。

この地域に住む子供たちを、みんなで協力して守っていきましょう！



防災教育関係の資料、教材はこちらに！！（本研修の様子もご覧いただけます。）

山梨県総合教育センターホームページ内 義務教育課 防災教育

